

# 安心して安全に暮らせるまちづくり

平成16年度  
 施政方針から  
 池田町長

昨年の2月に「環境にやさしい町、安全に暮らせるまちづくり」を掲げ、町長の要職に就任して一年が経過しました。その間、町民皆さまのご支援・ご協力を賜り、第四次総合計画に沿って各種事務事業が順調に進められておりますことを深く感謝申し上げます。

## 全町下水道整備に取り組みます

特に全町民の願いであります公共下水道終末処理場が、関係地区の皆さまや地権者の方々の深いご理解のもと、昨年4月から、市橋・片山南・下八幡地域の一部で供用開始し、事業が順調に進んでいますことに感謝申し上げます。

また、養基三区、脛永地区についても特定環境保全公共下水道事業として、揖斐川町とともに整備を進め、全町における下水道事業の事業促進と早期完成を目指していきます。

## 合併の成否が決まる重要な年

市町村合併問題につきましては、現在西濃圏域合併協議会において、協定項目の協議が進められておりますが、合併の期日まであと一年余りとなって大詰めを迎えています。今後、協議には各市町の意向の調整に一層困難が予想されますが、そのような中で、自然豊かな緑多い池田町の歴史・風土・文化を守り、近隣町村との連携も大切にしながら、西濃圏域の中で中核都市を目指し、地域資源を有効活用し、地域間の交流拠点となる、心がやすらぎ、ゆとりの持

てるまちづくりができるよう、民意を尊重し、懸命の努力を続けていきますので、町民の皆さまの温かいご支援とご協力をお願いいたします。

## 人材の育成に取り組みます

国庫補助負担金、地方交付税および税源移譲を含む税源配分のあり方にかかる三位一体の改革が動き出し、激動の時代を迎えようとしています。

地方自治体の依存財源として配分される地方交付税額は、4年連続の減少で、地方に徹底した歳出の削減や財政の効率化を求めるとなっています。

こうした中、地方財政の再建は最重要課題となっており、自主的・自立的な行財政運営を確立することが必要不可欠であり、さらに行財政改革を進めていく必要があります。

池田町においては第四次総合計画の内容を再検討しながら、必要性や効果などを見極めて、限られた財源を重点的かつ効率的な予算配分に努めました。

地方分権の進展により、地方公共団体の権限が大幅に拡大されることから、住民とともに考え、住民福祉の向上を図るため、自ら政策を企画し実現する人材、分権時代に対応した人材の育成に積極的に取り組むなど、創意に溢れた自治行政の展開と住民自治制度の充実へ向けて、分権改革と行財政改革を一体のものとして考え、取り組んでまいります。

## 今年度の予算規模

区 分	平成16年度予算	平成15年度予算	伸び率(減)
一般会計	82億9,300万円	72億9,400万円	13.7
特別会計	54億5,470万円	48億9,290万円	1.1
国保特別会計	16億7,900万円	16億1,300万円	4.1
老人保健特別会計	18億5,950万円	16億7,030万円	11.3
北部簡易水道事業特別会計	7,750万円	7,472万円	3.7
南部簡易水道事業特別会計	7,000万円	7,011万円	0.2
農業集落排水事業特別会計	3億3,340万円	3億1,662万円	5.3
公共下水道事業特別会計	11億1,570万円	8億8,565万円	26.0
温泉施設特別会計	3億1,960万円	2億6,250万円	21.8
予算総額	137億4,770万円	121億8,690万円	12.8
水道事業会計			
収益的収入	2億5,254万円	2億7,407万円	7.9
収益的支出	2億3,735万円	2億5,396万円	6.5
資本的収入	920万円	1,220万円	24.6
資本的支出	8,119万円	8,503万円	4.5